

令和元年度文部科学省
「幼稚園の人材確保支援事業」委託事業

幼稚園の人材確保支援事業 調査研究事業報告

令和 2 年 3 月

公益財団法人広島県私立幼稚園連盟



令和元年度幼稚園の人材確保支援事業 事業報告

I 調査研究テーマ

- ア 離職防止・定着促進（働き方改革）
- イ 離職者の再就職促進
- ウ 新規採用の促進

II 調査研究課題

平成29年度、文部科学省の委託事業「幼稚園の人材確保支援事業」の採択を受け、マッチング体制の構築、幼稚園等の魅力を発信するイベント（幼稚園・認定こども園ナビゲーション）、離職者への再就職に向けた情報提供、現役教諭・養成校の学生を対象とした働き方に関するアンケート調査等を実施した。これらの取組から得られた課題、対応策に関し、平成30年度も文部科学省の採択を受け、29年度に実施した事業に改善を加えるとともに、教職員の離職防止・定着促進に向けて「幼稚園における働き方改革」に取り組んだ。

令和元年度は、更なる事業の改善と、「働き方改革研究会」から受けた提言を基に、園運営の在り方研修会を開催するとともに、広島県教育委員会乳幼児教育支援センターと連携した人材確保支援事業にも取り組み、幼稚園等の人材確保に寄与する。

III 調査研究の要旨

1 本事業の目的

広島県内の私立幼稚園等の人材確保に向けて支援策を講じることにより、効果的な方策を調査・研究し、幼稚園等の人材確保に資するとともに、幼児教育の質の向上にも寄与する。

2 各調査の研究課題

(1) 離職防止・定着促進（働き方改革）

平成30年度の働き方改革研究の中から園の雰囲気づくりに特化した研修会を開催した。参加者はファシリテーション・スキルを学び、自園での実践に取り組んだ。

(2) 新規採用の促進・離職者の再就職促進

私立幼稚園の魅力発信事業としては、YNナビにおいて、園情報の提供、就職アドバイザーによる支援等を実施し、効果的な方策について研究した。

また、無料職業紹介事業における求人・求職システムの改善や就職アドバイザーによる相談事業等を実施し、その効果を研究した。

3 全体のまとめ

離職防止・定着促進に向けては、風通しの良い職場環境が重要な要素の一つであり、誰もが意見の言える環境にしなければならない。このため、リーダー等がファシリテーションスキルを習得することは効果が高いと言える。新規採用促進・離職者の再就職促進に向けた取組としては、それぞれの立場に合った支援が必要である。新たに実施した就職アドバイザーの園訪問による支援は個々の課題に対応できるということで効果があった。

今後は、これまでの事業を厳選して継続するとともに、今年度の事業から見えてきた課題にも対応しつつより効果のある事業を検討していきたい。

I 働き方改革に向けた取組「園運営の在り方研修会」等の開催

1 目的

平成29、30年度の実施事業を受けて、さらに、働きやすい職場環境づくりに向けた取組を「園運営の在り方」に特化し研究を深め、県内の私立幼稚園・認定こども園での離職防止・定着促進を図る。

2 事業内容

(1) 「園運営の在り方研修会」の開催

ア 開催日時

- 第1回 令和元年 6月25日(火) 14時30分～18時30分
- 第2回 令和元年 7月23日(火) 14時30分～18時30分
- 第3回 令和元年 9月18日(水) 14時30分～18時30分
- 第4回 令和元年10月15日(火) 14時30分～18時30分
- 第5回 令和元年11月25日(月) 14時30分～18時30分

イ 開催場所

TKPガーデンシティPREMIUM広島駅北口(広島市東区)

ウ 参加者

30人(設置者、園長、副園長又は主任で、5回すべてに参加できる者)

エ 講師

秦 賢志氏(学)小寺学園 理事長
(ファシリテーション・スキルの講演を数多く実施、自園も大きく変革させた。)



オ 研修のテーマ

自ら学びともに育ち合う、主体的・対話的なチームづくり

「ファシリテーション・リーダーシップ」



(2) ニューリーダー研修会の開催

ア 開催日時

令和元年11月11日(月) 13時00分～17時45分
～11月12日(火) 9時30分～12時30分

イ 開催場所

広島ガーデンパレス2階「錦」(広島市東区)

ウ 参加者

29人(園のミドルリーダーを対象)

エ 講師 秦 賢志氏(学) 小寺学園 理事長

オ 研修のテーマ

ミドルリーダーとチームのあり方を理解し、私と私のチームに良い変革が起きること。

カ 研修の概要

講義で、今回の研修で学ぶこと、チームとは、ミドルリーダーとはを学び、グループワーク(2テーマ)を実施し、最後に振り返りを行った。



(3) 令和元年度設置者・園長研修会での発表

今回の研修で学び実践した幼稚園が成果を発表することにより、加盟園の設置者・園長に対して、「風通しの良い職場づくり」に向けた取組の周知を図った。

ア 日時 令和2年2月4日(火) 13時～14時

イ 場所 広島ガーデンパレス2階「鳳凰」

ウ 内容

○ 研修実施の趣旨説明

(公財) 広島県私立幼稚園連盟 清川 里佳 副理事長

○ 参加者発表2人

白ゆり幼稚園 柳川 広子 園長

スカウトランドひまわり幼稚園 木村 雄二 副園長

○ ファシリテーションの必要性とまとめ

秦 賢志氏(学) 小寺学園 理事長



3 事業実施による成果

- 令和元年度は、平成30年度に実施した「働き方改革研究」の成果をもとに、働きやすい職場環境づくりを進めていくため、園の雰囲気・人間関係に特化した「園運営の在り方研修会」を開催し、ファシリテーション・スキルを学び、自園で実践した成果をレポートにまとめ提出してもらった。
また、設置者・園長研修会において園長1人、副園長1人が自園で実践し、園での変化について発表した。
- 詳細は、別紙報告書による。

(1) 開催日程等の決定について

- 講師からの要望により、4時間×5回 計20時間はないと、ファシリテーション・スキルは身につかないとの助言によりこの日程となった。
- 参加者からも、開始前は、長すぎて続くだろうか、という意見もあったが、講師の講義の進め方も参加者を惹きつけるものであり、毎回4時間があつという間に過ぎたという感想を多くいただいた。

(2) グループ編成について

- グループワークを中心とし、園長クラスと主任クラスの混合グループと主任のみのグループ分けを行った。
- 講師に、園長のみのグループ編成も提案したが、「園長のみのグループでは、本音での話し合いができない可能性が高い。参加者にはやはり成果を持ち帰ってほしいのでこのグループ編成はしないほうが良い。」との助言があり、園長・主任混合グループと主任のみのグループ編成となった。
- グループは最初から最後まで同じメンバーとした。
- このため、回を重ねるごとに、議論も活発になっていくよう感じられた。
- 特に「主任のみのグループ」は同年代、同様の立場ということもあり、早い段階からグループ全員が打ち解けている様子で、活発な議論がなされていた。
- グループワークごとに発表の機会があったが、どのグループも本音で語られている様子が見えかけた。

(3) 設置者・園長研修会でのアンケート（自由意見）

- 今園で取り組んでいることとマッチしていた。
- 現場で取り入れられるようなものが多くあった。
- 若い先生の意見の引き出し方の糸口が見えた。
- 自園の雰囲気はとても良いと思っていたが、本当にそうなのか改めて考える機会になった。
- ファシリテーションの必要性に興味を惹かれた。

3 課題

- 様々なグループワークを通じて、ファシリテーション・スキルを学んだが、各園に持ち帰り、実践してもらうことが重要である。
- 園からの一人での参加者が多かったが、二人（園長と主任）で参加すれば、もっと園での実践がスムーズにいくのでは、という意見があったことから、募集方法等にもっと工夫があってもよいと感じた。

4 今後の取組

- 園の雰囲気づくりだけでなく、設置者等による労務環境改善も、教員が働き続ける上で重要な要素であり、今後は園の労務環境の改善に取り組んでいく必要がある。
- そこで、令和2年度は、労務環境の改善に向けた取組を実施し、更なる離職防止・定着促進に努めていきたい。

Ⅱ 幼稚園・認定こども園ナビゲーション（YNナビ）の開催

1 目的

高校生や養成校で学ぶ学生、幼稚園等で働くことを希望する者を対象に、幼稚園等の魅力を発信するとともに、幼稚園教諭を目指す学生等が増加することを目的として、幼稚園・認定こども園ナビゲーション（YNナビ）を平成29年度、30年度に引き続き、県内2か所（県西部、東部）で開催した。

令和元年度は、就職アドバイザーによるミニセミナーを開催し、来場者にとってYNナビが有益なものとなるよう支援した。

2 具体的な事業概要

（1）県西部会場

- 日 時：令和元年6月28日（日）10時～15時
- 会 場：広島県立広島産業会館西展示場
- 参加園：60園（ブース54、パネル展示6）
- 来場者：356人（参加養成校：27校（高校1校を含む。））

（2）県東部会場

- 日 時：令和元年7月7日（日）13時～16時
- 会 場：福山市ものづくり交流館
- 参加園：29園（ブース26、パネル展示3）
- 来場者：118人（参加養成校：14校）

（3）当日の実施内容

ア 園毎のブース設置

教職員による魅力発信

- ・ 学生と現職若手教員との懇談
- ・ 教育実習やボランティア、園見学等についての情報提供 等



（西部会場）



（東部会場）

イ パネルの展示
パネルによる園の魅力発信

ウ 加盟園の情報提供コーナーの設置



(パネル展示)



(情報提供コーナー)

エ 講演会、DVD上映
若手教員、園長による体験談の発表（東部のみ）
DVD上映による幼稚園等の魅力発信

オ 就職アドバイザーによる相談コーナーの設置



(西部会場の相談コーナー)



(東部会場の相談コーナー)

カ 就職アドバイザーによるミニセミナー【新】



(西部会場)



(東部会場)

キ 「わーくけんよう」登録コーナー

ク 休憩室の設置

(4) イベントの広報

チラシ、ポスターの配布
マスコミへの広報

(5) 養成校での魅力発信の実施

養成校からの希望により、園長等が養成校に出向き、幼稚園の魅力発信に向けた講演等を実施。(2校に2人の園長を派遣した。)

(6) 広島県乳幼児教育支援センターと連携した養成校との意見交換会の実施【新】

広島県乳幼児教育支援センターと連携し、私立幼稚園・認定こども園の魅力をより一層理解してもらい、人材確保及び質の向上に資するため、県内、近隣県の養成校との意見交換会を開催した。

案内送付先 県内及び近隣県の養成校27校

参加者 15校18人(広島県11校、山口県1校、岡山県3校)

3 新採用教員研修会でのアンケート調査結果

平成31年3月25、26日に開催の「新採用教員研修会」に参加した127人の教諭に対して実施した人材確保に向けたアンケート調査の1項目としてYNナビについての質問を行った。

- YNナビへの参加については、西部、東部の開場いずれかに参加した者(66.1%)と両会場に参加した者(0.8%)を合計すると、66.9%の者がYNナビに参加したこととなり、30年度調査と比較すると、参加者は約1.7倍となった。
- 一方、平成31年度の研修参加者でYNナビに参加しなかった者は33.1%であるが、30年度調査と比較すると、その割合は大きく減少した。
- 参加しなかった理由としては、開催を知らなかったと回答した者が59.5%と半数を超えていた。そのうち、6割が県内の養成校の出身者だった。

(単位：件、%)

	サンプル数	両方参加	一か所参加	両方不参加	無回答
H31 新採研参加者	127	0.8	66.1	33.1	0.0
H30 新採研参加者	114	1.8	38.6	57.9	1.8

4 事業実施による成果

(1) 来場者、参加園等

- 目標 (目標は昨年度実績を上回ること)

	参加園		来場者		参加校	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
西部会場	62園	60園	477人	356人	26校	27校
東部会場	32園	29園	122人	118人	20校	14校

- ブースへの来場者 (単位：人)

	10人以下	11～20人	21～30人	31人以上	無回答
西部会場	20	11	9	4	10
東部会場	14	8	1	0	3

- 3年間の状況

	西部			東部		
	参加園 (園)	来場者 (人)	参加校 (校)	参加園 (園)	来場者 (人)	参加校 (校)
H29	54	415	26	26	130	19
H30	62	477	26	32	122	20
R元	60	356	27	29	118	14

- 説明を聞いた園 (参加者への調査) (単位：人)

	0	1園	2園	3園	4園	5園	6園	7園以上	未回答	回答数
西部会場	28	69	78	48	31	19	11	6	—	290
東部会場	0	29	32	13	19	4	1	0	4	102

- 参加者の感想 (複数回答) (単位：人)

項目	西部	東部
就職先、実習先の選定の参考となった	227	68
就職希望園の特色や雰囲気を知ることができた	133	50
先生方と直接話をして、就職への参考となった	119	50
就職希望の園の参加がなかった	18	6
期待した内容と異なっていた	3	0
その他 将来を考える参考になった 就職の幅が少しでも広がった	4	1

- 参加園、来場者ともに、西部、東部会場ともに目標を下回った。
- 西部会場の開催日に関東地区で就職説明会があり、広島から無料バスが出たため、そちらに参加した学生が多数いたとの情報が入った。
- 西部会場に初めて高校生の参加があった。（県内の高校に案内チラシを送付した。）
- 東部会場における就職アドバイザーによる「参加する心構え」の説明は非常に好評であった。これにより、西部会場より短い時間ではあるが、ブースを訪れる参加者は多かった。
- 東部会場では、アンケート回答者はすべて、ブース訪問をしていた。ブースに行かなかったと回答した者が0となったのは、就職アドバイザーによる説明の効果があったことが証明された。
- 一方、西部会場は28人がブース訪問を実施していないことが分かった。
- 西部会場でのミニセミナーは、なかなか自らの意思で参加する学生は少なく、声掛けして参加者を集めるといった結果となった。
しかし、参加した学生が、その後、就職アドバイザーのブースでさらに話を聞くといった場面も見られた。
- しかしながら、アンケート調査の結果は、「就職先、実習先の選定の参考になった」、「就職希望園の特色や雰囲気を知ることができた」「先生方と直接話をして、就職への参考となった」との回答が多く、YNナビを実施することは有益であると考えられる。

(2) 就職アドバイザーによる「わーくけんよう相談コーナー」の設置、セミナーの開催

	相談件数			セミナー参加者	
	個別面談	相談	質問対応		
西部	10件	5人	5人	—	18人
東部	10件	6人	—	4人	110人

※ 東部会場は13時からの講演会に引き続き実施したため、参加者のほとんどが聴講した。

	相談件数	主な相談内容
西部	10件	<ul style="list-style-type: none"> ・どのように会場を回れば良いのかわからない。緊張してドキドキする。 ・指定の履歴書持参し自己PRについて ・大学の先生の勧めで広島市公立保育園を受検検討中。会場をいろいろまわったけど何が良いのかわからなくなってしまった。 <p>【質問内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募の仕方について具体的に相談 ・電話のかけ方、メールの送り方 ・面接について ・園求人の見方 ・公務員試験との併願について ・ブースでの質問の仕方 ・実習園以外の園の話聞くポイント など

東部	10件	<ul style="list-style-type: none"> ・福山出身なので福山市に戻って幼稚園に就職したい。愛媛から度々戻ることでできないのでボランティアや行事に参加できないのが不安。 ・どの幼稚園の話を聞けばよいかわからない。小規模幼稚園を希望。 ・給料の見方がわからない。園によって差がある。どのように探せばよいか。 <p>【質問内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども園の話を聞きたい。 ・実習園以外の園への質問の仕方 など
----	-----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- アンケートの自由意見欄に「相談コーナーで、面接対策、履歴書の書き方等を教えてもらって勉強になった.」、「何か不安に思ったことがあれば一人で抱え込まず、すぐに相談するといいと改めて感じる事ができた。」と相談コーナーでの感想の記入があった。

相談コーナーで、就職アドバイザーと面談した者にとっては有益であったことがうかがえた。

- 就職アドバイザーの所感

(西部会場)

- ・ 会場のまわり方やその後の活用方法などをミニセミナーという形でレクチャーする機会を持たせていただいたことで多くの学生とのやり取りをすることができた。
- ・ 折角の機会なのでできるだけ多くの園の話を積極的に聞くことができるようになってほしい。実習園への挨拶だけで帰る学生もいた。
- ・ それぞれの参加園が具体的な事例を掲示したり説明資料を配布したりしたことが学生にとって働くイメージに繋げることが出来たと思う。
- ・ 園の説明資料とMAPは分かりやすく良かったと思った。

(東部会場)

- ・ 相談者が会場を回り、その後、相談コーナーに報告に来てくれたのが嬉しかった。
- ・ どの園の話を聞けば良いのかわからないという質問に対しては、自分自身のこだわり(勤務地、園の規模、教育方針等)を整理するようアドバイスした。
- ・ 参加園の説明資料がとても分かりやすく工夫されていたと思う。
- ・ 参加園の先生がずっと椅子に座ったままでは話しかけにくいので時々席を立てて迎えた方が印象が良いと思った。
- ・ 西部会場にも言えることであるが、友人同士と一緒に回っている学生が多かった。1人で自分の就職活動のために行動できるようになれば良いと思う。

(3) 合同反省会

- 日 時：令和元年7月9日（水）
- 場 所：広島ガーデンパレス
- 参加者：実行委員会委員9人（実行委員長、西部6人 東部2人）
- 評価・主な意見等
 - ・ 単位交流が養成校とできると来場者が増えると思う。
 - ・ 広報に問題があると思う。
 - ・ チラシを学生は見ない。SNS等を使う必要があると思う。
 - ・ 受付表に氏名や性別等の必要があるのか。必要ないのであれば、必要最低限の情報収集でいい。
個人情報等の管理の問題もある。
- ⇒ 大学名と学年だけでいいと思う。
- 開催は保育士ナビに併せて実施する。
- パネルは、段ボールがいいという意見とパーテーションがいいという意見がある。

- 令和元年度の反省等を踏まえ、2年度の開催日を決定した。

【YNナビ西部会場】

- 日 程：令和2年6月28日（日）
- 会 場：広島県健康福祉センター（保育士ナビに併せて開催する。）
 - ・ 開催時間に関しては、14時以降の来場者が少ないことから1時間短縮する方向で検討する。

【YNナビ東部会場】

- 日 程：令和2年6月7日（日）
- 会 場：福山市ものづくり交流館ギャラリーAB
 - ・ 同会場が令和2年度で閉館することに伴い、新たな開催場所を検討する必要がある。

(4) 養成校での魅力発信事業

- YNナビの会場だけでなく、養成校からの希望に応じ、園長が養成校に出向き、幼稚園の魅力発信に向けた講演を行っている。

月日	養成校名	派遣園長	参加学生数
R元/7/2	穴吹医療福祉専門学校	かやのみ幼稚園園長	60人
11/30	広島都市学園大学	フレーザー幼稚園園長	120人

【講師（園長）からの気づき等】

- 各種職場でのやりがい等の話や将来の職種選択の参考になるように、就職に向けての試験勉強の実際、就職までしておくべきことなどを聞く機会は学生にとって具体的に自分の将来への準備を考える機会となっているよう感じられた。
- このような機会は私立幼稚園の魅力伝えるチャンスでもあり、人材確保に繋がっていくことにもなるので継続して養成校と連携していくことが大切だと思った。

（5）広島県乳幼児教育支援センターと連携した養成校との意見交換会の開催【新】

広島県乳幼児教育支援センターと連携した意見交換会は、初めての試みであった。

これまで、あまり接点がなかったことから、まずは、乳幼児教育支援センターの事業概要の説明を行った。その後、意見交換を行った。

【意見交換の主な内容】

（YNナビについて）

- ・ YNナビでのミニセミナーの実施は大変ありがたい。

（就職関係）

- ・ 高校生、中学生から養成し、県内の学生を県内で養成するということを考えていかなくてはいけない。
- ・ 公立と私立幼稚園希望の学生が増えている。
- ・ 公立を落ちた生徒が11月から私立幼稚園へ就職希望がある。
- ・ 保育園へ就職する割合が多いようである。
- ・ 幼稚園は一人担任なので不安という意見が多い。

（実習関係等）

- ・ 実習が就職につながっている。
- ・ 実習依頼をしたが断られることもある。
- ・ 2年生で幼稚園実習、3年生で保育所実習となっている。学生が実習で自信を無くすことが課題である。
- ・ オープンキンダーガーデンでどういったところを見せていただけるのかを知りたい。
- ・ ボランティア等は積極的に参加するよう伝えているが実行している学生は少ないと感じている。
- ・ 実習の受け入れ人数、条件については紙ベースで配布していたが学生は見ないという事でホームページに掲載した。先生方は紙ベースが良いのか。

⇒ 両方あると嬉しい。

- ・ 実習の調査票について紙媒体でもいただくと助かる。

(就職アドバイザーからの助言)

- ・ 園としては就職活動について理解を深める必要がある。
- ・ 実習園が就職先ではないということは仕方がない、自由応募ということで学生が選択権を持っているということを理解する必要がある。
- ・ 実習は、免許を取るための授業の一環であるのでこれは協力しなくては行けないが、この実習が採用とつながっていることに戸惑っている学生が多い。
- ・ 受入れ時期や態勢など事務的に解決できることは早急に改善してほしい。
- ・ 求人票について、学校によってはスキルなど詳しく書くような欄もあり、分かりやすい求人票を作っている養成校もあるので参考にしてほしい。
- ・ 養成校にはそれぞれ専用の書式があり、求人票が届くと即時ポータルサイトに掲載しているのでタイムラグはなく、学生に公平に情報提供している。

4 課題と今後の取組

- YNナビは幼稚園の魅力発信には効果的な事業である。
- 開催に向けては、より多くの園の参加を得る必要がある。
- また、より多くの学生に幼稚園の魅力を知ってもらう新たな機会を検討する必要がある。
- 養成校等を通じ広報を徹底し、開催を知らないという者を少なくしていく必要がある。
- 参加した者がより多くのブースを回って、自分の得たい情報が得られるよう、支援する必要がある。
- 保育士ナビと同じ会場での合同開催は効果的であると考えて、今後は、広島県と協議しながら進めていく必要がある
- 養成校との意見交換会は幼稚園の魅力を養成校の先生方に発信する場としては必要であると考えている。意見交換会の実施の仕方を工夫し、幼稚園の魅力をより一層発信できるよう検討していきたい。

Ⅲ 無料職業紹介事業の実施

1 目的

幼稚園等の人材確保に向けて、平成30年度に引き続き、広島県私立幼稚園連盟無料職業紹介所（わーくけんよう）において、就職アドバイザーを設置し、きめ細かな相談業務等を実施した。

また、現在運用中である求人・求職システムの機能を強化し、登録者に対するサービス向上を図るとともに業務の効率化を図る観点等から、システム改善を行った。

2 具体的な事業概要

(1) 就職アドバイザーによる求人・求職者への支援

再就職を希望する者や幼稚園教諭の免許取得者で新たに就職を希望する者等に対して、就職アドバイザーが求人側（幼稚園）、求職者一人ひとりに合った支援を行った。

ア 依頼先

NPO法人キャリアプロジェクト広島（広島市中区本通7-29 アイビービル7階）

イ 主たるアドバイザー

（令和元年4月～12月）

NPO法人キャリアプロジェクト広島 副代表理事 竹本 寛美氏

資格：国家資格キャリアコンサルタント（CDA）

（社）総合経営管理協会採用コンサルタント資格認定者

（令和2年1月～3月）

NPO法人キャリアプロジェクト広島 所属講師 松永 佳世子氏

（K mind 代表）

資格：2級キャリアコンサルティング技能士（国家資格）

J C D A 認定 C D A

ウ 主な業務

- ・ 求人・求職システムへの登録者等が満足のいく成果（求職者の希望園への就職、園が求める人材の確保）を得られるための支援
- ・ 求人活動が円滑に行え、採用につながるような園への支援【新】
- ・ 養成校への「わーくけんよう」の周知及び利用促進【新】

エ 活動日及び活動開始日

5月より事業開始

相談業務は、概ね月2回 13時～17時、その他 随時

(2) 新卒者向け「就活ガイドブック」の印刷【新】

幼稚園への就職活動への参考としてもらえるようなガイドブックを、就職アドバイザー監修により作成し、YNナビでの配布や養成校訪問時の学生への配布用として活用した。

また、HPへもアップし、いつでも、誰でも閲覧できるようにしている。

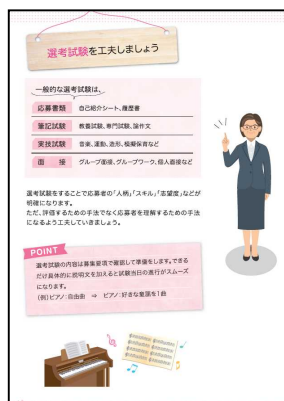
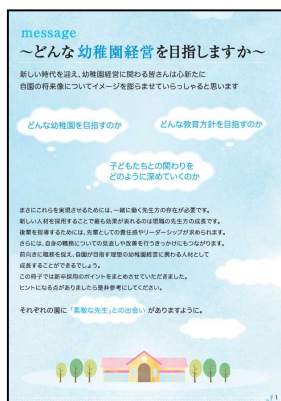
- ・ イベント：2か所YNナビ（西部、東部）
- ・ セミナー：2回（免許更新講習）
- ・ 養成校訪問：3校



(3) 幼稚園教諭向け「新卒採用のためのガイドブック」作成（新）

幼稚園教諭に、今の時代のこれからの園運営に積極的に携わってもらい、納得のいく採用活動に結び付けてもらうためのガイドブックを作成し、県内の私立幼稚園等に配布した。

このガイドブックも就職アドバイザー監修で、幼稚園教諭を対象としたセミナーでの資料として、このガイドブック活用した。



(4) セミナー等の開催【新】

再就職を希望者及び養成校の学生向けに、就職アドバイザーによるミニセミナー及び相談会を行うとともに、幼稚園教諭に対する新卒者の採用活動での留意点等のセミナーを行った。

- ・ ミニセミナー 1回（養成校学生向け）
- ・ セミナー 1回（幼稚園教諭向け）
（3月に1回予定していたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。）



(5) 園訪問による支援

就職アドバイザーからの更なる改善提案を踏まえ、令和元年度は、求人希望園へ出向き、求人・採用に関する助言を行った。

- ・ 12園（4市3町）訪問



(6) 「わーくけんよう」広報活動

「わーくけんよう」の広報活動として、チラシを印刷し、園での退職者に退職金支給時に配布するとともに、各種イベント、セミナーで配布した。

また、養成校へ出向いての広報活動を実施した。

- ・ イベント：2か所YNナビ（西部、東部）
- ・ セミナー：2回（免許更新講習）
- ・ 養成校訪問：3校

(7) 求人・求職システムの改善等

登録が200名を超えたため、登録者と求人園のマッチングに力を入れることを狙い、人的マッチングを積極的に行えるよう、管理画面の機能を追加した。

また、ハローワークに提出された求人も容易に閲覧できるよう新たなバナーを設けた。

○ 追加機能の主なもの

- ・ 管理者ページでの求人票への応募状況を入力する機能
- ・ 管理者ページでのマッチングを行うための園情報、登録者情報の検索機能

3 事業実施による成果

(1) 登録・マッチング状況

- システムに関して、3月末時点で、登録期間終了とし、4月には改めて登録してもらう方法に改善した。
- よって、年度当初の求人登録は少なかったが、徐々に件数は増加していった。
- 今年度は広報を実施しなかったが、求職者登録は順調に増加した。
- 登録状況は次のとおり

ア 登録状況

(単位：件)

月	マッチング	求人登録	求職者登録	紹介
4月	0	3	148	0
5月	0	9	152	0
6月	0	16	168	2
7月	0	21	179	2
8月	1	23	181	1

9月	1	24	185	8
10月	△1	38	196	2
11月	0	36	197	6
12月	2	38	199	7
1月	0	60	207	13
2月	2	57	208	10
計	5	—	—	51

イ 登録者の状況（令和2年3月1日現在）

【性別】

男 性	16人
女 性	192人
合 計	180人

【年齢区分】

20歳代	72人
30歳代	60人
40歳代	55人
50歳代	21人
合 計	208人

(2) 就職アドバイザーによる支援

- 就職アドバイザーが、月2回金曜日に常駐することを、わーくけんようサイト等を活用して周知を図った。

ア 相談状況及び状況確認調査（就職アドバイザー、当連盟職員）

- 電話やメールでの相談に対応するとともに、新規の登録者に対して登録した意図の確認をし、マッチングに繋げるため、新規登録者には随時電話による状況確認調査を行った。

区 分 件 数	求人に関する相談		求職者の相談・聞き取り	
	電話・メール	来所・面談	電話・メール	来所・面談
4月	3	0	0	0
5月	1	1	0	0
6月	19	0	36	10※
7月	3	0	43	10※
8月	7	1	7	1

9月	22	7	17	0
10月	15	3	23	0
11月	12	0	4	0
12月	20	1	10	0
1月	22	4	9	0
2月	11	2	17	0
計	135	19	166	21

※ 6月、7月求職者来所・面談は、YNナビ東部10件、YNナビ西部10件の相談を含む。

イ 電話相談内容

【求職者からの主な相談内容】

- ・ 免許更新講習を受けていないため、幼稚園で働けるか。
- ・ 免許更新の受講はどのようにしたらいいか教えてほしい。
- ・ 勤務時間について融通が利くか知りたい。
- ・ ブランクがあるため現場に出て通用するか心配である。
- ・ 求人票に対しての個別質問（時給、勤務時間）等

【求人者からの主な相談内容】

- ・ システムの入力方法がわからない。教えてほしい。
- ・ 教諭が辞めるため急いで人を探している。
- ・ 将来的に園長等の園の運営を任せられる人を紹介してほしい。 等

ウ 面談による相談内容

【求職者からの主な相談内容】

- ・ 教諭の働きやすい環境でどのように工夫したらいいか。
- ・ 養成校へ出す求人票の書き方について教えてほしい。
- ・ 求人が出た場合、養成校へは出向いてもいいのか知りたい。
(養成校との関わり方)
- ・ 新採用教員を迎えるにあたって、園で気を付けることは何か。
- ・ 今どきの学生の傾向が知りたい。

エ 園訪問による求人側への支援

- 電話では対応しきれない面もあるということと、幼稚園の状況を把握したうえでの助言が重要ではないかとの就職アドバイザーからの提案により、来園を希望する求人者に対しては、訪問による支援を行った。

9月：7園（呉市1園、東広島市2園、広島市2園、安芸郡2園）

10月：3園（廿日市市1園、広島市1園、安芸郡1園）

11月：1園（呉市1園）

1月：1園（広島市：1園）

計 12園（広島市4園、呉市2園、廿日市市1園、東広島市2園、安芸郡3園）

- 園訪問による助言のメリットとしては、まず、応対者だけでなく、園の雰囲気、先生方の様子などを観察したうえでのアドバイスが行える点である。
- 園を離れて相談に向向くことができない現場の教諭や事務担当者などが相談でき、またその場でシステム入力を、すぐに求人登録ができることでシステムの活用頻度の増加につながり、結果的に採用につながった例もある。
- また、就職アドバイザーの助言をその場にいる者が全員聞くことができることも挙げられる。
- 電話の場合は、応対している1人の者に限られてしまうことから、後から伝言しても、細部まで伝わらない可能性がある。
- 就職アドバイザーも、助言をしながら、園の対応者の表情等を見ながら、真に求めている内容へとアプローチしている。
- サイトの修正に関しても、同じ画面を見ながらの助言は、園側にも的確に伝わる。
- 園での日常の活動が実は園の強みであることや、日頃マイナスに捉えていることをどのように解決するかなど、求人情報に加える際のアドバイスができた。
- 今回訪問した園の求人で2名の採用があり、園長からお礼の連絡があった。

オ 広報

【紙媒体を活用した広報】

- ・ Good Communication・・・
(広島県私立幼稚園加盟園保護者3万世帯) 7月10日配布
- ・ 県幼通信・・・ (広島県私立幼稚園連盟加盟園203園) 隔月10日配布
- ・ チラシ配布
 - ・ YNナビでの配布 (500部)
 - ・ 免許状更新講習会 (300部)
 - ・ 広島県私立幼稚園退職者 (200部)

4 課題と今後の取組

- 就職アドバイザーの高いスキルは、求人、求職両者に対して、きめ細やかな支援ができた。
- 求職者に積極的にアプローチし、マッチングを増加させることが大きな課題と考える。
- セミナー等ではきめ細やかな対応、高いスキルが評判となり、徐々に周知が図られてきた。
- 就職アドバイザーからの提案もあり、改善された部分も多くあり、就職アドバイザーの支援は、求職者、求人者にとってもその存在は大きいと考える。
- 就職アドバイザーが1月に交代したが、きめ細やかな支援が継続できている。

幼稚園の人材確保支援事業 調査研究実行委員会委員

菊永 将浩	弁護士法人井上・菊永法律事務所代表弁護士
菊野 秀樹	比治山大学短期大学部教授
竹本 寛美	NPO法人キャリアプロジェクト広島副代表理事
樋野本順子	トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校保育社会福祉学科学科長
豊原三紀男	広島県環境県民局学事課長
岡野 浩子	広島県健康福祉局安心保育推進課長
田坂 嘉章	広島県教育委員会乳幼児教育支援センター長
住田 直之	(公財) 広島県私立幼稚園連盟理事長 (委員長)
山中 隆司	(公財) 広島県私立幼稚園連盟副理事長
清川 里佳	(公財) 広島県私立幼稚園連盟副理事長
山根多美子	(公財) 広島県私立幼稚園連盟事務局長

事務局

佐伯奈津子	(公財) 広島県私立幼稚園連盟事務局員
越智 由美	(公財) 広島県私立幼稚園連盟事務局員